

はじめに

わたしたちのふるさと栃木県は、清らかな水や美しい緑に満ちあふれ、雄大な山並みと広く豊かな大地に恵まれています。この恵み豊かなふるさととの環境は、わたしたちの宝物です。

しかし、わたしたちの生活が便利で豊かになるにつれて、ごみの問題や地球温暖化など、環境にかかわる様々な問題がおこっています。食事をしたり、テレビを見たり、出かけたり……、毎日の生活の中で、なにげなく行っていることが、それらの問題と関わっています。

ですから、わたしたち一人ひとりが、環境について知り、自分にできることは何かを考え、実際に行動することがとても大切なのです。

ふるさとの恵みや、かけがえのない地球を未来に引きついでいくために、できることから始めましょう。

「環境」って何だろう？

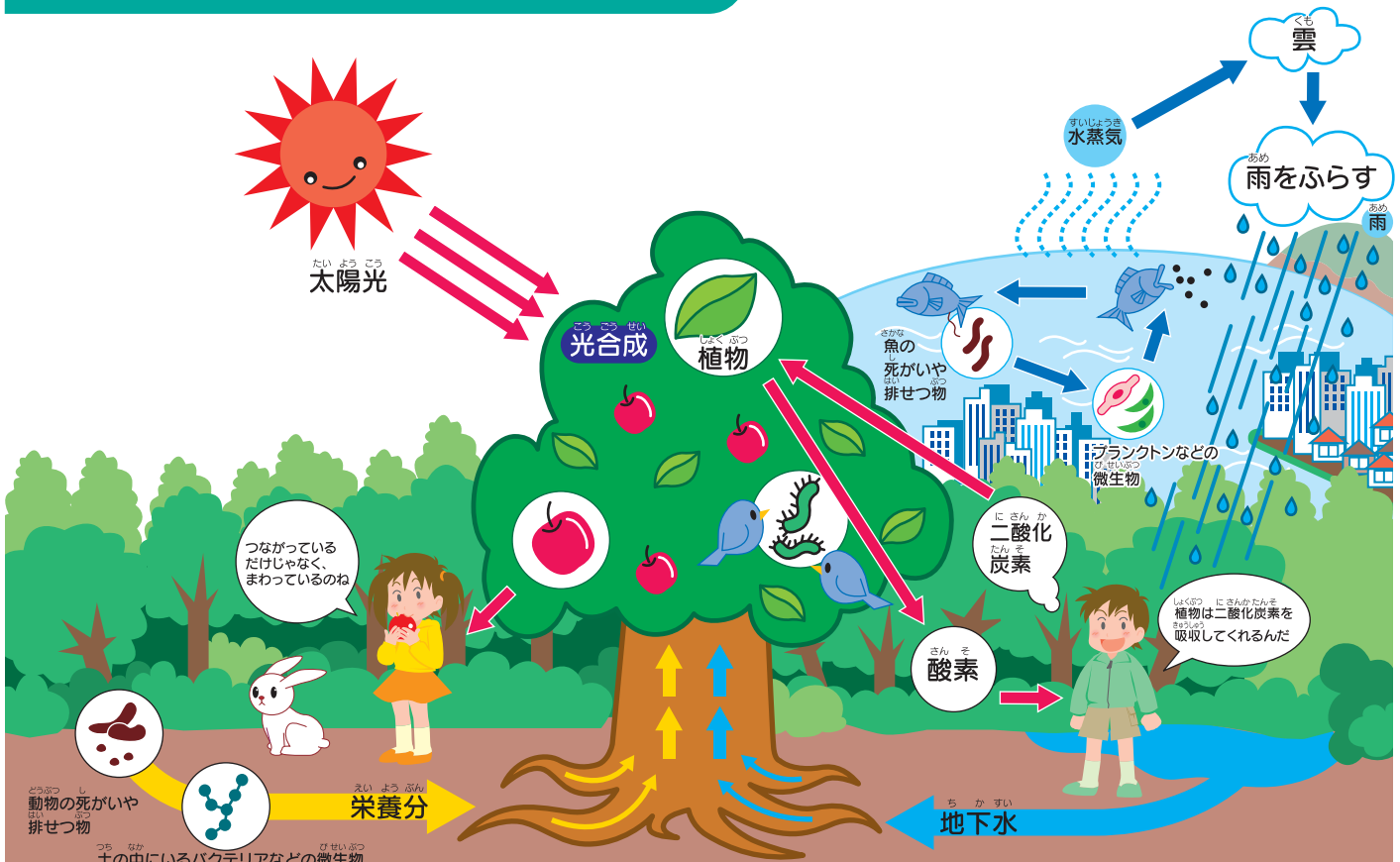
空気や水、大地、生き物など、わたしたちを取りかこんでいるすべてが「環境」です。そして、わたしたち人間や動物、植物などは、地球環境の中で、互いに深くかかわり合い、バランスを保ちながら生きています。

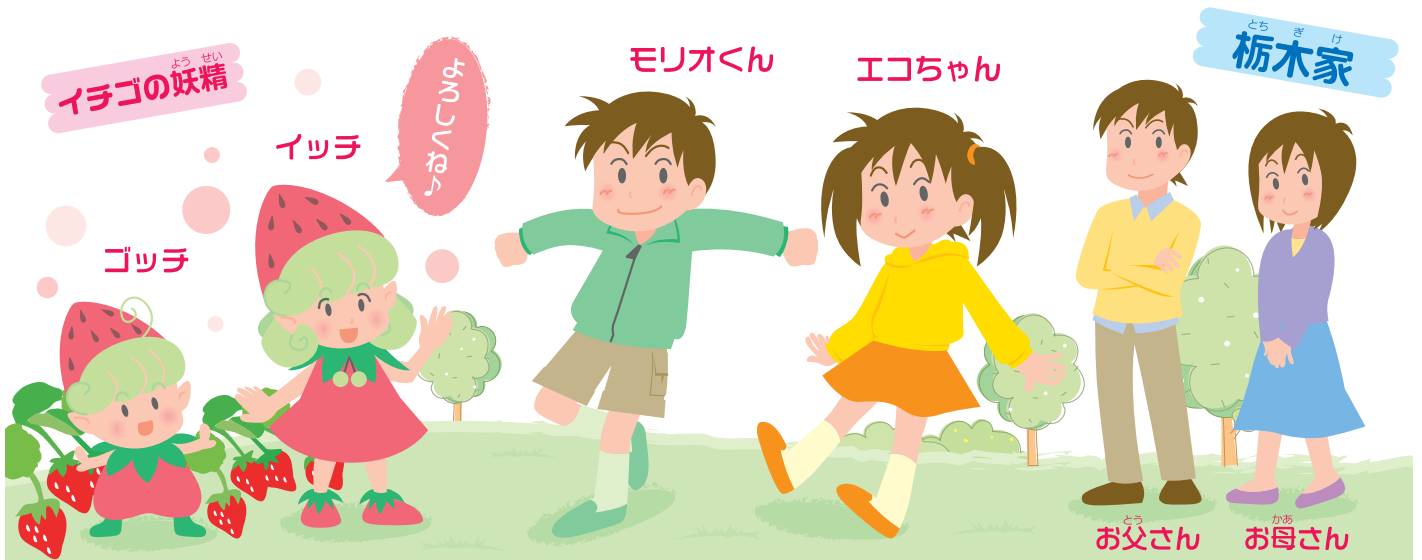
でも、わたしたちの周りでは、環境に関するいろいろな問題がおきています。川などの水が汚れたり、ごみが増えたり、生き物が少なくなったり、気候が変化したり……。

これらの問題は、栃木県や日本、地球上のいろいろなところでおきています。このままにしておいたら、この美しい地球やふるさととの環境はどうなってしまうのでしょうか……。

環境を守るために、わたしたちに何ができるか、いっしょに考えてみましょう。

わたしたちの暮らしと環境のかかわり





ある日、栃木家のエコちゃんとモリオくんの姉弟のもとに、イチゴのような姿をした不思議な二人がやってきました。二人は、イチゴの妖精で、「イッチ」と「ゴッチ」。妖精学校の宿題で、地球のことを調べるためにやってきたのだけれど、分からなくて困ってしまったので、エコちゃんとモリオくんに調べるのを手伝ってほしいとっています。宿題のノートには、4つのキーワードと質問がかかれています。「水」「ごみ」「森林」は、身の回りにあるものだけれど、「地球温暖化」はちょっとむずかしいかな…。エコちゃんとモリオくんは、家族に相談して、二人の妖精といっしょに考えてみることにしました。みなさんも、家族でいっしょに考えてみましょう。



キーワード 水

マヨネーズ大さじ1杯を川に流した場合、魚がずめるくらいきれいな水質にするには、きれいな水がどれくらい必要になるんだろう？

お風呂 約3杯分 約8杯分 約13杯分

3ページハ



キーワード ごみ

平成18年度に栃木県民が生活の中で出した「ごみ」の量は、1人1日あたりに換算すると、どれくらいだろう？

約500g 約1kg 約5kg

7ページハ



キーワード 森林

栃木県内の森林の面積は、県土全体の面積のどれくらいを占めているんだろう？

約35% 約55% 約75%

11ページハ



キーワード 地球温暖化

家庭から出される二酸化炭素の量を一人一日あたりに換算すると、どれくらいなんだろう？

バランスボール(直径65cm)
約5個分 約10個分 約20個分

15ページハ